たんぽぽだより

2020年　7月号

今年の夏はいつもと違う夏？コロナ禍中の夏が来ました。新型コロナウイルスの収束はまだのようですね、ところで先日アデノウィルス感染症に罹った子が数人出ましたが、数日熱が出ただけで、収まったようです。そこでアデノウイルスについて調べてみました。

(朝日新聞デジタル版 2018 年 10 月 5 日より)

アデノウイルスの感染経路は、患者さんのせきやくしゃみで飛び散るウイルスを含む粒子による「飛沫（ひまつ）感染」、患者さんの皮膚や粘膜などに直接触れたり、患者さんが触れてウイルスが付着した物体に触れたりすることによる「接触感染」、手洗いが不十分であることなどで患者さんの便中のウイルスを経口摂取する「経口感染」など多様です。体の外に排出された後でも、感染力を長時間維持できる強いウイルスなので、感染した人が触った物や、プールの水も感染源になります

アデノウイルスには抗生物質は効きません。また、アデノウイルスに対する抗ウイルス薬もありませんので、治療は、症状を和らげる対症療法が主体になります。対症療法とは、症状を和らげる治療のことであり、せき、鼻水、のどの痛みを和らげる薬の投与です。

感染した場合は、自宅で安静にし、十分な水分を摂取することが重要です。

アデノウイルスもコロナウイルスと同じように「飛沫・接触・経口感染」ですね、強いウイルスですとありますが、全員にうつったわけじゃないという事実があります。コロナも同じとは限りませんが、必ずうつるものではないと感じました。治療法も薬もない事も同じですね。やはり一番の治療法は安心した環境で脱水症状に気をつけ安静にする事なんですね。

先日のたんぽぽの食育アドバイザー樋口聡子先生のお話会＆料理教室では、免疫力の話がありましたね。免疫力を上げるには、腸内環境を元気にするという簡単でシンプルな方法でしたね。

参加くださった保護者の皆様ありがとうございました。実践していけば、健康で元気な子どもに育っていくと思います。調理法も重ね煮から 6 種類の料理が出来るので、栄養抜群で時短できるので、お仕事で忙しいお母さん方は助かりますね。聞き逃してしまった方　今後計画する事もあるかもしれません。その時は是非参加してください。

・水分補給のお水は冷たすぎると疲れますので氷は入れないでください。（冷たい物を飲むと下がった体温をまた上げようと体力を使います）
・汗をかいたり、汚れたりしたら着替えます。着替えは３組以上お願いします。必ず下着を入れてください。下着は汗を良く吸います。
・持ち物の名前のチェックをお願いします。

行事変更のお知らせ
内科検診&お話会：
8/29

6 月の苦情・ご提案について：特にありませんでした。

保育サロン
たんぽぽ

今月の目標：夏の遊びを思いっきり楽しむ。（丈夫な身体つくり）

つぼみ組【0歳児】：保育者との関わりの中で安心して過ごす。体を動かして汗をかいた後沐浴から始めて水に慣れ水遊びをスムーズにできるようにする。

もも組【１歳児】：水や砂などの感触を体験し、夏の遊びを楽しむ。トイレに興味を持ち、便座に座る。

ゆり組【２歳児】：水・泥・砂に親しみ、保育者や友だちと開放的な夏の遊びを楽しむ。簡単な身のまわりのことを保育者に見守られながら自分でやってみようとする。

7月の保育内容

養護

つぼみ組：　当日と前日の朝の健康状態を把握し、心地良い環境の中でゆったりと快適に過ごせるようにする。子どもの欲求を言葉にして話しかけるようにする。特定の保育者と愛着関係を持ち、安心して過ごす。

もも組：こまめに水分補給をし、湿度や室温調節しながら脱水症状、熱中症などに注意する。子どもの様子に応じて、シャワーをしたり、濡らしたタオルで体を拭いたりして、皮膚疾患の予防に努め、快適に過ごせるようにする。

ゆり組：　水遊びの後は十分に休息を取れるようにする。水分補給や休息を十分に取り、暑い夏を元気に過ごす。見守られたり手伝ってもらいながら、一人で衣服の着脱や片付けをしようとする。

教育

つぼみ組：ハイハイやつかまり立ち伝い歩きを楽しむ。　よく噛んでカミカミ期の離乳食をゆっくりと時間をかけて食べる。友達に興味を示し一緒に手遊びをしたり、絵本を見たりする。保育者と喃語での言葉のやり取りを楽しむ。涼しい時間帯に戸外の日陰で、保育者と過ごしたり水遊びを存分に楽しむ。みんなが歌ったりするのを見たりふれあいを通して一緒にすることを楽しむ。

もも組：苦手な物を少量でも食べた時は、満足感がもてるように暖かな言葉かけをして、楽しく食事ができるようにする。オムツがぬれていない時はトイレに行くように言葉をかける。子どもの思いを言葉で代弁したり、丁寧に関わるようにする。子ども同士で仲良く遊べるように言葉をかけて仲立ちをする。子どものペースで水に慣れるよう、様子に合わせて寄り添いながら一緒に楽しむ。保育者と一緒に七夕飾りを楽しんで作ったり、飾ったりできるように様々な材料を用意する。

ゆり組：畑の野菜やお花の成長・収穫を喜ぶ。見たり触れたりして、夏の野菜に興味を持ち、苦手な物も食べられた事に喜びを感じる。　正しい姿勢で食べる。尿意を自分から知らせてくれるよう様子を見て声掛けをしていく。水に親しみ、触れた時の感触や、おもしろさを感じながら楽しく遊ぶ。同じ玩具を使って一緒に遊んだり、「貸して」「いいよ」「ありがとう」などのやり取りをしながら関わりを増やす。絵本に出てきた単語や、保育者とのやり取りで出た挨拶などを覚え、言葉を使う楽しみを感じる。友達や保育者と一緒に泥・砂・水遊びやプール遊びなど、夏の遊びを十分に楽しむ。色々な素材を切ったり貼ったり混ぜたり様々な違いに気づきながら製作を楽しむ。夏を感じる曲やリズムに合わせ喜んで体を動かす。